

問題用紙は、試験監督員からの開始の指示があるまで一切開かないでください。

## 令和6年度

第一種販売

法令試験問題

JX

試験時間 9 : 30 ~ 10 : 30

### 注意事項

- (1) 配布された問題用紙の種類（左上に黒地白文字で示しています。）が受験する試験の種類に間違いがないか、また、問題用紙と受験番号札の色が合致しているかどうか、必ず確認してください。  
万一、異なる場合は、速やかに試験監督員に申し出てください。
- (2) 答案用紙に記入されている受験番号、氏名等を確認し、間違いがあれば「受験者住所等修正票」を請求し、正しい内容を記入して試験監督員に提出してください。
- (3) この試験は電子計算機で採点しますので、答案用紙に記入する際には、記入方法を間違えないように特に注意してください。  
電子計算機は、黒く塗りつぶした ● の部分を読みとります。
- (4) 試験問題の解答は多肢選択式です。解答は、各問題の下に掲げてある(1)~(5)の中から、**最も適切なものを1問につき1個だけ選んでください**。1問につき2個以上選択した場合には、その問題については0点になります。
- (5) 解答は、次の例にならって、答案用紙の所定の欄にマークしてください。  
「記入例」  
問 次のうち正しいものはどれか。  
(1) A (2) B (3) C (4) D (5) E  
(3)を選択する場合には、  

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
○	○	●	○	○

のように、○の枠いっぱいに、はみ出さないようにHB又はB鉛筆で黒く塗りつぶしてください。
- (6) 試験問題に関する質問にはお答えできません。
- (7) 「問題用紙」及び「答案用紙」は、試験監督員の指示に従い必ず提出してください。

一販(法)JX

次の各問について、高圧ガス保安法に係る法令上正しいと思われる最も適切な答えをその問の下に掲げてある(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の選択肢の中から1個選びなさい。

なお、この試験は、次による。

- (1) 令和6年4月1日現在施行されている高圧ガス保安法に係る法令に基づき出題している。
  - (2) 経済産業大臣が危険のおそれのないと認めた場合等における規定は適用しない。
  - (3) 試験問題中、「都道府県知事等」とは、都道府県知事又は高圧ガス保安法に関する事務を処理する指定都市の長をいう。
- 

問1 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

イ. 高圧ガス保安法は、高圧ガスによる災害を防止して公共の安全を確保する目的のため、民間事業者及び高圧ガス保安協会による高圧ガスの保安に関する自主的な活動を促進することも定めている。

ロ. 圧力が0.2メガパスカルとなる場合の温度が35度以下である液化ガスは、高圧ガスではない。

ハ. 高圧ガスを充填した容器の所有者又は占有者は、その容器が危険な状態となったとき、直ちに、所定の災害の発生の防止のための応急の措置を講じなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問2 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

イ. 販売業者は、販売所を新たに設けた場合、軽微な変更として、その販売所における高圧ガスの販売の事業開始後遅滞なく、その旨を都道府県知事等に届け出なければならない。

ロ. 販売業者は、その所有し、又は占有する容器を盗まれたときは、遅滞なく、その旨を都道府県知事等又は警察官に届け出なければならない。

ハ. 販売業者は、その所有し、又は占有する第二種貯蔵所に異常があった場合、その貯蔵所に備えた帳簿に所定の事項を記載し、これをその記載の日から2年間保存しなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問3 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 容器に充填された高圧ガスの輸入をした者は、輸入をした高圧ガス及びその容器について、指定輸入検査機関が行う輸入検査を受け、これらが輸入検査技術基準に適合していると認められた場合、指定輸入検査機関がその検査結果を都道府県知事等に報告することとなっているので、検査を受けた旨を都道府県知事等に届け出る必要がなく、かつ、都道府県知事等が行う輸入検査を受けることなく、その高圧ガスを移動することができる。
- ロ. 販売業者は、高圧ガスの販売の事業を廃止しようとするときは、都道府県知事等の許可を受けなければならない。
- ハ. 販売業者がその販売所（特に定められたものを除く。）において指定した場所では、何人も火気を取り扱ってはならない。

- (1) イ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問4 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 常用の温度において圧力が0.2メガパスカル以上となる圧縮アセチレンガスであって、現にその圧力が0.2メガパスカル以上であるものは、高圧ガスである。
- ロ. 一般高圧ガス保安規則に定められている高圧ガスの移動に係る技術上の基準等に従うべき高圧ガスは、容積が0.15立方メートルを超えるものに限られる。
- ハ. 第一種貯蔵所の所有者又は占有者が特定高圧ガス消費者にも該当する場合は、特定高圧ガスの消費についての都道府県知事等への届出は不要である。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問5 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスの第一種貯蔵所について正しいものはどれか。

- イ. 第二種製造者が、その高圧ガスの製造に係る質量2万キログラムの液化酸素を貯蔵するときは、第一種貯蔵所においてしなければならない。
- ロ. 販売業者が、高圧ガスの販売のため容積2000立方メートルの圧縮アルゴンを貯蔵するときは、第一種貯蔵所においてしなければならない。
- ハ. 第一種製造者が、その高圧ガスの製造の許可を受けたところから従って容積2000立方メートルの圧縮水素を貯蔵するときは、第一種貯蔵所において貯蔵しなくてよい。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問6** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスを充填するための容器（再充填禁止容器を除く。）及びその附属品について正しいものはどれか。

- イ．容器の製造又は輸入をした者は、所定の容器検査を受け、これに合格したものとして所定の刻印等がされているものでなければ、特に定められた容器を除き、容器を譲渡し、又は引き渡してはならない。
- ロ．容器又は附属品の廃棄をする者は、その容器又は附属品をくず化し、その他容器又は附属品として使用することができないように処分しなければならない。
- ハ．容器に充填する液化ガスは、刻印等又は自主検査刻印等で示された種類の高圧ガスであり、かつ、容器に刻印等又は自主検査刻印等で示された最大充填質量の数値以下のものでなければならない。

- (1) ロ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問7** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスを充填するための容器（再充填禁止容器を除く。）について容器保安規則上正しいものはどれか。

- イ．圧縮窒素を充填する容器の刻印のうち、「TP24.5M」は、その容器の耐圧試験における圧力が24.5メガパスカルであることを表している。
- ロ．液化酸素を充填する容器に表示をすべき事項のうちには、その容器の表面積の2分の1以上について行う黒色の塗色、その高圧ガスの名称の明示がある。
- ハ．溶接容器、超低温容器及びろう付け容器の容器再検査の期間は、容器の製造後の経過年数にかかわらず、5年である。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問8** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、特定高圧ガス消費者に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

- イ．貯蔵設備は、その製造技術、検査技術等の状況により製造することが適切であると経済産業大臣が認める者の製造した耐圧試験圧力に応じる十分な強度を有するものでなければならないと定められている。
- ロ．可燃性ガスの消費設備を設置する室は、その可燃性ガスが漏えいしたとき滞留しないような構造としなければならない。
- ハ．貯蔵能力が100キログラムの特殊高圧ガスの貯蔵設備と減圧設備との間の配管の耐圧試験は、水その他の安全な液体を使用して行う場合は常用の圧力の1.5倍以上の圧力で行わなければならない。

- (1) ロ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問9** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、特定高圧ガス消費者が消費する特定高圧ガス以外の高圧ガスの消費に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 消費設備の修理が終了したとき、消費設備が正常に作動することを確認した後でなければ消費してはならない旨の定めはない。

ロ. 消費した後は、バルブを閉じ、容器の転倒及びバルブの損傷を防止する措置を講じなければならない。

ハ. 充填容器、残ガス容器、バルブ又は配管を加熱するときの方法は、熱湿布及び温度40度以下の温湯その他の液体（定められたものを除く。）による方法に限られる。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問10** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、特定高圧ガス消費者が消費する特定高圧ガス以外の高圧ガスの消費に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 充填容器及び残ガス容器のバルブは、静かに開閉しなければならない。

ロ. 充填容器には、湿気、水滴等による腐食を防止する措置を講じなければならないが、残ガス容器にはその定めはない。

ハ. シアン化水素を消費するときは、特に定められたものを除き、容器に充填した後60日を超えないものを消費しなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問11** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、販売業者が容積0.15立方メートルを超える高圧ガスを容器（高圧ガスを燃料として使用する車両に固定した燃料装置用容器を除く。）により貯蔵する場合、貯蔵の方法に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 塩素の容器置場の周囲2メートル以内においては、火気の使用を禁じ、かつ、引火性又は発火性の物を置いてはならない。ただし、容器と火気又は引火性若しくは発火性の物の間を有効に遮る措置を講じた場合は、この限りでない。

ロ. 容器置場に容器を置くとき、充填容器と残ガス容器をそれぞれ区分しなければならない旨の定めに従うべき高圧ガスに、窒素は含まれない。

ハ. 液化アンモニアを貯蔵する場合は、漏えいしたとき拡散しないように密閉構造の場所で行わなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問12** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、販売業者が容積0.15立方メートルを超える高圧ガスを容器（高圧ガスを燃料として使用する車両に固定した燃料装置用容器を除く。）により貯蔵する場合、貯蔵の方法に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 充填容器及び残ガス容器（それぞれ内容積が5リットルを超えるもの）には、転落、転倒等による衝撃及びバルブの損傷を防止するための措置を講じ、かつ、粗暴な取扱いをしてはならない。

ロ. アセチレン及び酸素は、容器置場に携帯電燈以外の燈火を携えて立ち入ってはならない高圧ガスとして定められている。

ハ. 容器置場には、計量器等作業に必要な物以外の物を置いてはならない旨の定めは、窒素のみを貯蔵する容器置場には適用されない。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問13** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、容器（配管により接続されていないものに限る。）により高圧ガスを貯蔵する第二種貯蔵所に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 特殊高圧ガスの容器置場のうち、そのガスが漏えいし、自然発火したときに安全なものであるべき容器置場に貯蔵すべきものは、モノシラン又はジシランに限られる。

ロ. 圧縮水素の充填容器及び残ガス容器をシリンダーキャビネットに収納した場合は、その容器置場には、所定の直射日光を遮るための措置を講じなくてよい。

ハ. 容器置場には、その規模に応じ、適切な消火設備を適切な箇所に設けなければならない旨の定めがある高圧ガスの種類の一つに、特定不活性ガスがある。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問14** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、車両に固定した容器（高圧ガスを燃料として使用する車両に固定した燃料装置用容器を除く。）による高圧ガスの移動に係る技術上の基準等について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 容器（その容器の頂部に設けた附属品を含む。）の地盤面からの高さが車両の地盤面からの最大高より高い場合には、高さ検知棒を設けなければならない。

ロ. 液化酸素の充填容器及び残ガス容器には、ガラス等損傷しやすい材料を用いた液面計を使用してはならない。

ハ. 質量3000キログラムの液化酸素を移動するとき、第一種販売主任者免状の交付を受けている者であれば、その者が高圧ガス保安協会が行う高圧ガスの移動についての講習を受けていなくても、その移動についてその者に監視させることができる。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問15** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、車両に積載した容器（内容積が47リットルのもの）による高圧ガスの移動に係る技術上の基準等について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 酸素の充填容器とアンモニアの残ガス容器とを同一車両に積載して移動するときは、これらの容器のバルブが相互に向き合わないようにならなければならない。

ロ. 高圧ガスを移動する車両の見やすい箇所に警戒標を掲げなければならない高圧ガスは、可燃性ガス、毒性ガス、酸素及び三フッ化窒素に限られる。

ハ. 塩素と同一車両に積載してはならない高圧ガスの一つに、アセチレンがある。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問16** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスの廃棄に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 可燃性ガスを継続かつ反復して廃棄するときは、通風の良い場所で行えば、そのガスの滞留を検知するための措置を講じる必要はない。

ロ. 二酸化炭素は、廃棄に係る技術上の基準に従うべき高圧ガスとして定められていない。

ハ. 廃棄のため充填容器又は残ガス容器を加熱するときは、空気の温度を40度以下に調節する自動制御装置を設けた所定の空気調和設備を使用することができる。

- (1) ロ (2) ハ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問17** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスの販売の方法に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 充填容器又は残ガス容器の引渡しをするときは、外面に容器の使用上支障のある腐食、割れ、すじ、しわ等がなく、かつ、そのガスが漏えいしていないものをもってしなければならない。

ロ. 圧縮天然ガスの充填容器及び残ガス容器の引渡しをするときは、その容器の容器再検査の期間を6か月以上経過したものをもって行わなければならない。

ハ. 不活性ガスのみを販売するときは、そのガスの引渡し先の保安状況を明記した台帳を備えなくてよい。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問18 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスの販売業者について正しいものはどれか。

- イ. 水素を販売する販売所の販売主任者には、第一種販売主任者免状の交付を受け、かつ、酸素のみの販売に関する6か月以上の経験を有する者を選任することができる。
- ロ. 販売主任者には、所定の製造保安責任者免状の交付を受けている者であって、高圧ガスの製造に関する所定の経験を有する者を選任することができる。
- ハ. 販売所に販売主任者を選任しなければならないと定められている高圧ガスの一つに、窒素がある。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問19 次のイ、ロ、ハのうち、販売業者が販売する高圧ガスを購入して溶接又は熱切断の用途に消費する者に対し、所定の方法により、その高圧ガスによる災害の発生の防止に関し必要な所定の事項を周知させなければならない場合、その対象となる高圧ガスとして一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

- イ. アルゴン
- ロ. エチレン
- ハ. 酸素

- (1) イ (2) ハ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問20 次のイ、ロ、ハの記述のうち、販売業者が販売する高圧ガスを購入して消費する者に対し、所定の方法により、その高圧ガスによる災害の発生の防止に関し必要な所定の事項を周知させなければならない場合、その周知させるべき事項について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

- イ. 使用する消費設備のその販売する高圧ガスに対する適応性に関する基本的な事項は、その周知させるべき事項の一つである。
- ロ. 消費設備の変更に関し注意すべき基本的な事項は、その周知させるべき事項に該当しない。
- ハ. ガス漏れを感知した場合その他高圧ガスによる災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に消費者がとるべき緊急の措置及び販売業者に対する連絡に関する基本的な事項は、その周知させるべき事項の一つである。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ロ (5) イ、ハ